

## 操作が簡単で使いやすい糖尿病の新薬

## 今年も糖尿病の新薬が登場



お答え  
はまもと内科クリニック  
濱本博美 院長

■プロフィール 島根医科大学  
(現島根大学)医学部卒業、岡山  
大学附属病院、倉敷中央病院、  
心臓病センター-椋原病院、日本  
鋼管福山病院、国家公務員共済  
組合虎の門病院、福山市民病院  
を経て2017年「はまもと内科ク  
リニック」を開院。日本糖尿病  
学会認定糖尿病専門医、日本内  
科学会認定総合内科専門医  
(メモ) ☎084(943)4976 はま  
もと内科クリニック (南蔵王町  
5-6-9) <http://hamamoto-naika.com/>

が、今年もまた新しい薬  
が1つ登場したので紹介  
します。

これまでの週1回の注  
射薬は、消化管から分泌

「はまもと内科クリニ  
ック」の濱本博美院長に、  
糖尿病の新薬について聞  
きました。

Q 最新の糖尿病治療  
薬について教えてください。

A ここ数年、毎年の  
ように新しい薬が登場し  
て世間をにぎわしている  
2型糖尿病の治療薬です

されるホルモン(インク  
レチン)のうち、GLP  
1という成分に類似し  
た薬でした。これは脳や  
胃に作用して食欲を抑  
え、すい臓から血糖値  
を下げるインスリンの分

泌を促す作用がありまし  
た。実は人間の体には、  
もう一つ血糖値に関わる  
インクレチン(GIP)が

分泌されており、こちら  
も同様に脳に作用して食  
欲を抑え、インスリンの  
分泌を促す作用がありま  
す。しかし、これまで2  
型糖尿病の人はGIPに  
抵抗性になっていたりと、

今回、最新の研究によ  
りそのような懸念は少な  
いとされ、この両方のホ  
ルモンに類似した成分の

注射薬が登場しました。  
Q 効き目について教  
えてください。

A 従来のGLP-1  
だけを増やす注射薬や減  
量効果のある内服薬(S

GLT2阻害薬)に劣ら  
ず、用量によってはそれ  
以上の効果が報告されて  
います。効果には個人差  
がありますが、例えば40  
週(約10カ月)で体重は  
マイナス2kgから5kg前  
後、糖尿病の状態を表す  
ヘモグロビンエーワンシ  
ーは、約2%前後の低下  
が見込まれます。

Q 使い方は?  
A 従来のインクレチ  
ン製剤と同じく週1回、  
皮下に注射し、1カ月ご  
とに薬の量を増やしてい  
きます。インスリン注射  
のような針の付け替えや  
単位合わせの必要がな  
い、1回ごとの使い捨て

タイプなので、初めて注  
射を打つ方にも使いやすい

くなっています。  
Q 副作用は?  
A 副作用として、胃  
腸の働きを抑えるため、  
吐き気や便秘、下痢など  
の症状が出やすいこと  
と、ほかの血糖値を下げ  
る作用のある薬を併用し  
ている場合に、低血糖を  
起こす可能性があります  
ので、使い始めは慎重な  
経過観察が必要です。

Q どのような人に向  
いていますか。  
A 食欲を抑える作用  
があるので、食欲があっ  
て食事量のセーブが難し  
いと感じている方に向い  
ています。気になる薬剤で  
す。気になる方は一度、  
主治医にご相談を。

主治医にご相談を。